



馬鈴薯の収穫

充実などの地域課題を踏まえ、金山・下金山地区の「地域振興」や「地域医療対策」、持続可能な施設運営とサービスの向上を目指し、「老人福祉施設の民営化」を柱とする、50室のユニット型の特別養護老人ホームが本年度、金山地区において建設されます。

この新しい特別養護老人ホームは、短期入所ベッドやデイサービス・生きたがいデイサービスを設置した多機能な施設として整備するものであります。老人福祉施設の民営化を図るため、建設費は町が全額負担しますが、施設運営は社会福祉法人南富良野大乗会が行うこととします。併設する在宅サービスの運営については、平成20年度に開設し、南富良野町社会福祉協議会が実施することとしております。更に、この事業に関連して施設周辺の環境整備を図るため、金山工場跡地の取得に向け、引き続き土地所有者と協議をまいります。

また、平成17年度に策定した「南富良野町地域福祉計画」に基づいて、生活圏を金山地区に新設する特別養護老人

ホームを中心とした金山・下金山（西部地区）と、既存施設の一味園を有する幾寅・東鹿越・落合・北落合（東部地区）に分け、それぞれに保健福祉基盤と医療基盤を構築して町全体の福祉向上を目指すこととしております。

更に、既設の福祉施設の民営化については、「一味園」は計画どおり平成22年度に大乗会へ移譲いたしますが、併設している高齢者生活福祉センター「くるみ園」とデイサービスセンターについては、平成20年度に社会福祉協議会へ運営を委託し、東鹿越公民館での「生きたがいデイサービス」は西部・東部それぞれのデイサービスと一体化して実施することといたしました。この民営化により効率的な運営とサービスの質の向上が図られるものでありまして、社会福祉協議会では、本年度において事務局体制を強化しながら受託に向けた準備が進められることになっております。

以上申し上げました重点施策の推進にあたりましては、諸情勢の変化を見極め町議会や町民皆様のご意見をいただ

組合や関係機関と連携を図り、本町認定農業者の加入促進に向け努めてまいります。本町の農業経営者は、農産物の市場価格や品質収量などにおいて、ここ数年厳しい経営環境を迎えており、加えてWTO（世界貿易機関）やEPA（経済連携協定）による農産物の国際競争が現実になりを見せようとしている中で、農業者の高齢化と減少による農地の流動化など、多くの課題に直面しております。このようなことから、本年度の農業振興施策については、

農業経営者の現状、更には農業委員会の建議も踏まえ、農業協同組合や農業団体、関係機関とより一層連携と協力を強め、本町の「農業経営基盤強化促進基本構想」に掲げる農業経営の着実な推進を図るべく努めてまいります。

本年度の事業については、富良野市や占冠村と歩調を合わせ、3カ年を有害獣捕獲重点期間と設定し、農業協同組合とのタイアップ事業により、農作物の食害防止対策を強化するため、「熊・鹿」の捕獲奨励金を増額して、個体数の削減を図るとともに、ハンター育成のための免許取得奨励金を予算に計上するなど、農作物の食害防止対策の強化に努めてまいります。

新規作物導入事業・地力増強事業・農地融雪促進事業・中山間地域等直接支払交付金事業については、農家所得の安定と生産意欲の向上を図るため、本年度も引き続き取り組んでまいります。

農地の流動化対策については、農業委員会の意見と協力をいただく中で、農用地利用集積計画の策定や農地保有合

く中で、庁内の横断的な連携に十分留意し、効果的・計画的に取り組んでまいります。次に、第4次総合計画を推進する本年度の主要事業を申し上げます。

つつくしの南富良野 瑞々しい自然のまち

はじめに、自然環境や景観の保全、自然の活用を目指す、つつくしの南富良野 瑞々しい自然のまちづくりであります。



フォレストタウン記念植樹祭

自然環境の保全

今年の記録的な暖冬に象徴されます異常気象は、地球規模での環境破壊が原因となっており、このため国内においても自然環境の保全活動が、官民一体となり各地で展開されております。

本町は、水と緑豊かな自然環境に恵まれた地域であり、教育や観光にも活かされており、自然環境の保全活動やその必要性をより多くの人々に広めていくことは、本町のまちづくりにとって重要であります。

本年度も、フォレストタウン記念植樹祭、北海道日本八木球団現役プロ野球選手を招いてのアオダモ記念植樹や野球教室、滝川市ボランティアグループとの水源の森創造交流会を開催すると共に、「山川草木を育てる集い」南富良野協会の皆さんにより「エジンバラ公園の森公園」の環境整備活動を支援し、自然環境の保全活動を進めてまいります。

ら、乳牛飼育に使用する水道使用料に対して負担軽減を図るため、本年度に限り助成の措置を講じることとし、予算を計上いたしました。

酪農受益者が生産コストの削減や経営の安定化を図るために実施する、本年度の畜産担い手育成総合整備事業については、草地整備を実施する計画でありますので、予算や債務負担する保証等所要の措置をいたしました。

エネルギーコストに配慮した農作物ハウス栽培については、現在、関係機関の協力を得ながら木質バイオマスエネルギーを利用したモデルケースとする計画を策定しており、引き続き検討を進めてまいります。

林業の振興

森林が持つ多面的機能は、動植物多様性の保全や地球温暖化の緩和、水源かん養機能、気候緩和および大気浄化など、人々の生活には欠かせない役割を果たして

る中で、国は、森林吸収源対

にぎわいの南富良野 誇れる産業のまち

次に、農業・林業・商工鉱業など、個性と工夫にあふれる地域産業を目指す、にぎわいの南富良野 誇れる産業のまちづくりであります。

農業の振興

国は、食料・農業・農村をめぐる大きな情勢の変化を踏まえ、10年程度を見通した上で農政全般にわたる改革を早急に実施すべく基本計画を策定し、これを着実に進めるため、昨年には、「21世紀新農政2006」が示され、国際戦略や国内農業の体質強化、食の安全と食育、バイオマス等の利用による新産業分野の開拓など、農業政策全般にわたる具体的な実行目標が示されたところであります。

この中で、国内農業の体質強化に向けた取組みといたしましては、本年度から農業の「担い手」の確保や経営基盤の強化を図るため、「品目横断的経営安定対策」が本格実施されることから、農業協同



北落合地区列状複層林

策として、本年度から新たに未整備森林緊急公的整備導入モデル事業を実施するため、民有林などに対して国費による森林整備事業費の予算を計上するなど、環境対策の視点から森林整備を積極的に進める姿勢を示しており、更に、森林の活用については、木質バイオマスエネルギーの利用促進について様々な研究を行い、あらゆる産業分野での活用を推進しております。

これまで林業は、国産材需要の停滞と価格の低迷から厳しい環境の中で推移してまい